

2022年度 FD 活動報告

教育開発センター

I. 2022年度FD活動の目標策定に向けて

大学におけるFD活動について、中教審答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」（2018年11月）では、「教学マネジメントを支える基盤」とし、教育活動の要として位置づけている。「教学マネジメント」とは、「大学がその教育目的を達成するために行う管理運営」（中教審大学分科会「教学マネジメント指針」2020, p. 2）であり、自大学の教育に関わる諸活動について点検・評価を自ら行い、その結果をもとに改善に努め、質を保証する仕組みをいう。

上述の「教学マネジメント指針」では、「各大学は、「卒業認定・学位授与の方針」に沿った学習者本位の教育を提供するために必要な望ましい教職員像を定義した上で、対象者の役職や経験に応じた適切かつ最適なFD〔中略〕を組織的かつ体系的に実施していく必要がある。加えて、〔中略〕学修成果・教育成果の把握・可視化により得られた情報の共有、課題の分析、改善方策の立案等、実際に教育を改善するか有働として位置づけ、実施する必要がある」（p. 31）としている。

学内に目を向ければ、本学中期目標・計画（2019～2025年度）に基づき策定されている2022年度学校法人幾徳学園事業計画では、教育開発センターが本学FDに果たす役割として以下の三つを掲げている：（1）3つのポリシーに基づく教育に関連したFDの企画・実施、（2）FD, アンケートを中心としたオンライン教育の検討、（3）教育力向上のためのFDプログラム実施・受講状況改善。（1）においては本学の教学マネジメント体制の確立・運営に係るカリキュラムレベルでの支援を、（2）（3）においては授業者レベルでの支援について、設計・開発・実施していくことが求められている。

これらの高等教育界における指針と本学計画に鑑み、本学の教育方針である「学生本位主義」と教育目的「考え、行動する人材の育成—社会で活躍する人づくり」を確かなものとしていくために、以下の目標を掲げFD活動を実施した。

II. 2022年度FD活動の目標

- ①「教職員は、所属する組織における教育活動・活動支援の策定・評価・運用にかかる現状と課題を具体的に指摘でき、課題解決に向けた提言を行うことができる。」
- ②「教員は、自己の科目をカリキュラムの体系から位置づけることができ、そこで求められる教育活動を「到達目標」「評価方法」「授業内容・方法」の三点に基づき、戦略的に考察・構築・改善することができる」
- ③「教員は、適切なオンライン活用のありかたを設計・運営・評価の観点から考察し、自己の授業の改善に向かうことができる」

III. 2022年度FD活動

A. 研修会の実施

1. 4月8日（金）10:30～15:30

新採用教員研修会 [2021年5月～2022年4月採用教員必須受講・対面研修]

本学の概要・教育方針と現状などを学び、着任に当たり本学教員としての義務・責任などについても考察していただく機会を提供する。

a. 「建学の理念と本学の大方針」

講師：小宮一三 学長

【目標①】

b. 「教員への期待と要請」

講師：谷村浩二 専務理事

【目標①】

c. 「本学の学生支援：教育面」

- 講師：齋藤 貴 副学長 【目標①】
- d. 「本学の大学院と教育における ICT の活用」
- 講師：井上哲理 副学長 【目標①②】
- e. 「本学の学生支援体制について」
- 講師：鈴木 隆 理事 【目標①】
- f. 「大学の高大接続と入学者選抜」
- 講師：石田裕昭 理事 【目標①】
- g. 「本学の教育」
- 講師：山本一雄 教授 教育開発センター所長 【目標①②】
- h. 「オンライン授業実施上の留意点」
- 講師：伊藤勝久 教授 教育開発センター 【目標②③】

2. 教育力向上ワークショップ [手挙げ式・新採用教員必須・Zoom 開催]

2017 年度に新採用教員研修会を補完する研修として開始し、2018 年度以降は「教育力向上ワークショップ」として定着している FD インフラ である。本ワークショップでは目標②に関わる個別教員の授業改善支援のため計画・実施されてきたが、目標①③も視野に入れつつ計画・実施した。

- 第 1 回 4 月 23 日 (土) 10:00~12:00
「授業設計のための目標と評価の設定」
ファシリテーター：伊藤勝久 教授 教育開発センター 【目標②】
- 第 2 回 5 月 21 日 (土) 13:00~15:00
「学生の主体的学びに向けた授業の設計」
ファシリテーター：伊藤勝久 教授 教育開発センター 【目標②】
- 第 3 回 6 月 18 日 (土) 13:00~15:00
「ルーブリック評価入門」
ファシリテーター：岡崎昭仁 准教授 自動車システム開発工学科 【目標②】
- 第 4 回 7 月 16 日 (土) 13:00~15:00
「授業設計のための知識構造理解と課題分析」
ファシリテーター：伊藤勝久 教授 教育開発センター 【目標②】
- 第 5 回 9 月 24 日 (土) 13:00~15:00
「反転授業設計入門」
ファシリテーター：伊藤勝久 教授 教育開発センター
神谷克政 教授 基礎・教養教育センター 【目標②③】
- 第 6 回 10 月 29 日 (土) 13:00~15:00
「授業のお悩み語り合いませんか」
ファシリテーター：藤村 陽 教授 基礎・教養教育センター 【目標②】
- 第 7 回 1 月 21 日 (土) 15:00~17:00
「カリキュラムマネジメント入門」
ファシリテーター：伊藤勝久 教授 教育開発センター 【目標①】
- 第 8 回 2 月 22 日 (水) 13:00~15:00
「学生の興味を喚起する授業デザイン」
ファシリテーター：伊藤勝久 教授 教育開発センター 【目標②】
- 第 9 回 3 月 7 日 (火) 13:00~16:00
「ティーチング・ポートフォリオ・チャート作成ワークショップ」
ファシリテーター：岡崎昭仁 准教授 自動車システム開発工学科 【目標②】
※東大 CRDHE 栗田佳代子教授の許諾を得て同方法にて実施
- 第 10 回 3 月 22 日 (水) 13:00~16:00

「SAP（構造化アカデミック・ポートフォリオ）チャート作成ワークショップ」

ファシリテーター：岡崎昭仁 准教授 自動車システム開発工学科【目標②】

※東大 CRDHE 栗田佳代子教授の許諾を得て同方法にて実施

3. 9月12日（月）11:00～12:30

全学FD研修会〔全教員参加必須・Zoom開催〕

「精神と発達に障がいのある学生に対応する授業支援」

講師：杉田郁代 准教授 高知大学 大学教育創造センター

【目標①②】

B. 授業公開〔対面・オンデマンド開催〕

【目標①②③】

実施期間：12月6日（火）～12月19日（月）【後期第11～12回授業】

実施期間中は全授業を公開対象とするが、参観を希望する者は、事前に授業担当者の許可を得ることとした。ただし、各学科・センターによる「推薦授業」（以下に掲げる17科目）については、実施期間中は自由参観（授業中の教室に出入り自由）とした。

【推薦授業リスト】

専門科目：①飯田泰広教授「生化学実験（応用バイオ科学科）」②酒井雅裕准教授「ゲームグラフィックス（情報メディア学科）」③饗場直美教授「栄養教育論Ⅰ（管理栄養学科）」④臼杵潤教授「Web技術（情報ネットワーク・コミュニケーション学科）」⑤山家敏彦教授・他「医用治療機器学実習（臨床工学科）」⑥吉川紀夫講師「機械及び電気工学実験（機械工学科）」

専門基礎科目：⑦村田隆教授「生命科学基礎ユニットプログラム（応用バイオ科学科）」⑧三栖貴行教授「デジタル音響機器と信号処理（ホームエレクトロニクス開発学科）」

専門基礎導入：⑨三宅理江子准教授「生命科学概論（管理栄養学科）」⑩門田英子講師「基礎力学Ⅱ-a（基礎・教養教育センター）」⑪兒玉健教授「基礎化学Ⅱ-a（基礎・教養教育センター）」⑫野井貴弘講師「微分積分学Ⅱ-c（基礎・教養教育センター）」⑬菊地哲也講師「線形代数学Ⅱ-b（基礎・教養教育センター）」

共通基盤：⑭高嶋渉准教授「健康・スポーツ科学実習Ⅱ（基礎・教養教育センター）」⑮荒船俊太郎講師（非）「日本近現代史（基礎・教養教育センター）」⑯河野智子講師「英語Ⅳ（基礎・教養教育センター；オンデマンド公開科目）」

大学院科目：⑰佐々義子講師（非）「サイエンスコミュニケーション（修士課程全専攻；Zoom開催；大学院生によるサイエンスカフェ）」

C. 「学生による授業アンケート」「教員による振り返りアンケート」の実施 【目標①②③】

個々の授業者の教育改善支援のみならず、先述の教学マネジメントのプロセスに学生の声を反映するための必須チャンネルである。本学個別事業計画3(2)にも実施の継続が規定される。

「4.2 教育の質保証・向上、学生本位（2）教育内容・教育力の向上、教育支援の充実①FDの全学的実施」の取組内容b-1.教育評価項目の再編成に掲載している「学生による授業アンケート／教員による振り返りアンケート（設問を表裏一体的に構成）」を実施し、学生・教員間の認識の差異を把握することによって、各教員が自己の授業における教育活動を分析できるようにした。

実施期間：【前期】7月19日（火）～8月1日（月） 第14～15回授業

【後期】1月7日（土）～1月23日（月） 第14～15回授業

「学生による授業アンケート集計結果」については、本センターweb 頁上に概要を公開。

また、前期「学生による授業アンケート」の結果については、担当教員からのコメント集『より良い教育をめざして：教員による学生の皆様へのコメント』（12月発行、158p.）を発行し、同じくweb上に公開している。

D. オンライン上での動画・資料コンテンツの作成と公開

1. 4月8日（金）公開 [教職員はオンデマンド利用] 【目標②③】

manaba コース「オンラインを活用した授業のためのガイド」

- ①manaba を授業で使ってみよう 1：全く初めての人のための manaba 入門
- ②manaba を授業で使ってみよう 2：manaba 入門ワークショップ資料・動画
- ③オンデマンド授業での留意点
- ④リアルタイム・オンライン授業での留意点
- ⑤HyFlex 授業について
- ⑥対面授業でのオンラインの活用
- ⑦評価方法：「思考を問う」評価方法の採用を
- ⑧オンライン授業に関する調査・研究会報告

2. 2月3日（金）公開 [全教員視聴必須] 【目標①】

動画「最近の法令改正について」（令和4年度「大学設置基準」の改正）

動画（26分）を作成し、manaba コース「KAIT FD」上に資料とともに公開

教員は2月3日（金）～26日（日）に視聴

E. SCOT 研修会（学生 FD） 【目標②③】

本学では学生 FD の一環として、授業設計・運営の方法等について有志学生に研修を実施し、授業担当者の希望に応じる形で授業を参観し、学生目線から授業改善のための提言を得る活動（SCOT 活動）を行っている。2022 年度末における、本学の SCOT 生は、9 名（4 年生 2 名、3 年生 1 名、2 年生 2 名、1 年生 4 名）である。

今年度の活動では、『より良い教育を目指して』紙上にて座談会「学生から見た良い授業とは...」を開催した。

F. センターニュース

1月31日（火）発行 特集「2022 年度 4 月実施の高等学校学習指導要領について」

【目標①②③】

G. プレ FD プログラム

「大学院設置基準（第 42 条の 2）」の改正（2019 年 8 月 30 日公布・施行）により、全ての大学院において「学識を教授するために必要な能力を培うためのプログラム（いわゆる「プレ FD プログラム」）」の設定と充実を図ることが努力義務化された。本学では、2010 年に国立教育政策研究所により提唱された「新任教員研修のための基準枠組」と、2019 年 7 月に日本高等教育開発協会（JAED）により提案された「大学教員の基本的な教育職能の基準枠組」を参考とし、既存の FD 研修会（新採用教員研修会・教育力向上ワークショップ）を基盤とした実践的な「プレ FD プログラム」（4 領域 20 時間修了）を構築（2019 年 11 月 12 日教開セ發文書）した。

本案を基本に博士後期課程共通選択科目（1 単位）の「高等教育学識教授法」を設計・開発し、昨年度開講した。本講では全 8 回に編成し直し、そのうち 5 回（とくに知識について）をオンデマンド授業として学修を行い、3 回（模擬授業を含む実技と議論中心）を集中対面講義として学修を行う構成とした。

【29700 高等教育学識教授法】 第 1 回 10 月 29 日（土）～第 8 回 1 月 31 日（火）

【目標①②③】

以上